

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・各店の来客数が増加し、客の購買意欲も高まり始めている。中小企業の客からは、新規採用を増やすという話もよく聞く。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・昨年の春先以降、観光客の動きは活発であり、来客数、販売量共に伸び続けている。客の表情も明るい。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・11月末に大幅改装した成果が、十分に出ている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は3.8%増である。客単価も、年末商品の買物が増えたため、5.8%上昇している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・年末年始の旅行商品の売上が若干良く、景気は少し上向いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・飲酒後にタクシーを利用する客が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・お歳暮やクリスマスギフトの購入客が多く、デパートへの往復客が増えて売上は増加している。忘年会の時期にも、深夜3時ごろまで大勢の客があふれている。
やや良く なっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・客の購買意欲は向上しており、それと共に販売量も伸びている。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	来客数の動き	・クリスマス需要を中心に、少し良くなっている。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・12月に入り急に来客数が増え、売上も過去最高になっている。ダイレクトメールでセールを通知したことが、影響しているかもしれない。ただし、一般の商店主に話を聞くと、全体的に地元の景気は良くない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・客は、これまでのような慎重過ぎる態度ではなく、普通に買物するようになってきている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・歳暮商戦は、最初はやや鈍かったが、12月に入り持ち直している。客の商品を見る目は相変わらず厳しく、創意工夫が必要であるが、品質が良く値段に見合った商品は生き残る。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・百貨店の客層は20代後半から60代であるが、9月ごろから10代の客が増えており、売上も伸びている。ファッションにこだわりを持つ客も多く、高額商品が売れている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客に購買意欲が感じられ、食料品の売行きが若干良い。ただし、衣料品は気候等の影響もあり、厳しい状況である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数がやや増加している。
		乗用車販売店（従業員）	それ以外	・当店のホームページへのアクセス件数や閲覧件数が増えており、それに比例して来客数も増えている。また、中古車市場の相場も上昇してきている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・賃貸や分譲マンションの建設が増えており、企業の設備投資でオフィスビルや工場の建設も増えている。公共工事は減っているが、民間需要の勢いが強い。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・お歳暮、おせち料理と、高額商品が確実に売れている。
		都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・毎年1万円、1万5千円の2種類のクリスマスディナー商品を販売しているが、今年は高い料理を注文する客が、わずかながら増えている。また、一般客からの問い合わせも増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・忘年会の利用が、昨年より10%ほど増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・レストランの来客数は前年並みであるが、客単価が上昇しており、売上増につながっている。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・宿泊をインターネットで予約する人が増えているため、宿泊の取扱件数は減っている。ただし、海外旅行の販売が少し増加している。		

	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・年未年始の旅行は堅調であり、例年以上の申込がある。今年は長期間の休みを取れることもあり、ヨーロッパやハワイ、アメリカ本土、オーストラリアのツアー申込が多い。短期のアジア、ミクロネシア方面も、休みの前半、後半と選択幅が広がり、申込が増えている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昨年、一昨年と比較すると、多少は良くなっている。
	テーマパーク（職員）	販売量の動き	・天候が安定しており、販売量は増加傾向にある。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客に年未年始の予定を聞くと、レジャーなどで出掛ける人が多く、少しは良くなってきている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・名古屋駅前の新しい高層ビル群に企業が移転してくるに伴い、近隣の空き店舗や賃貸マンションを求める引き合いが増えている。特に高級賃貸マンションの要望が多い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築件数は増加していないが、分譲住宅の購入や増改築は増えている。
変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・スーパーでの販売では、より安価な商品を求める客が増えている。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・相変わらず、客単価が低い。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・年末なので少しげいたくするという客と、いつもどおり必要最小限の買物をする客に分かれている。全体的には、売上は前年比5%減になる見込みであり、来客数の割に今一つ伸びていない。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・3、4か月前は景気の上昇を感じたが、この数か月は安定してきている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・暖冬のためか、例年に比べて防寒コートの売上が悪い。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・12月の売上も前年割れしており、相変わらず良くない。駐車場をみても軽自動車の割合が高くなっており、家計の経費節減は浸透している。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・年末は特に大型店への客の流出が激しく、中小スーパーでは客がどんどん減っている。また、大型店は元日から営業しており、中小スーパーは本当に大変である。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然として前年比98%前後で推移している。暖冬の影響で、農産物価格の暴落や衣料品の買い控えがあり、単価が上昇しにくい状況である。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・クリスマス商戦の売上は、前年比93%である。
	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・既存店の来客数や買上1点当たりの単価は前年比100%を超えている反面、買上点数は前年比98.2%、客単価は前年比99.1%と前年割れになっている。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・販売量は、他店と比べて伸びていない。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・業績好調でお歳暮を2,000円から3,000円に上げた零細企業があるかと思えば、不調でお歳暮をとりやめた企業もあり、全体としては変わらない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・これまで低下していた客単価は落ち着いており、来客数の増加傾向も続いている。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・暖冬の影響もあるが、売上は前年比100%を達成できていない。
	コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・全体の売上、分類ごとの売上共、3か月前と比べて大きな変化はない。
	コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・売上は前年同月比95%であり、単価も20円ほど低下している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暖冬でも12月に入ると来客数は増えており、売上は前年より増加している。ただし、常連客以外は、引き合いすらない。
衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・12月になり、売上はやや減少している。売上の予算達成率は、3か月前と比べてあまり変わらない。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・暖冬の影響で暖房商品が鈍く、パソコンの売行きも良くない。薄型テレビだけが好調である。	

乗用車販売店 (営業担当)	単価の動き	・来客数は多いが、販売単価は伸び悩んでいる。	
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ボーナス商戦の最終期であるが、来客数は依然として少ない。ただし、大型車の販売比率が予想外に高くなっている。値引き要求が相変わらず厳しく、収益的には厳しいが、ほんの少し光が見えている。	
その他小売〔水産物卸売〕(経理担当)	販売量の動き	・年末に向けて受注は増加すると予想していたが、逆に買い控えが目立っている。	
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・忘年会など客を期待していたが、普通の時期と全く変わらない。	
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・来客数は増加傾向にあるが、客単価が低下している。	
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・飲酒運転の取締り強化の影響で、特に平日夜の飲料売上が減少している。忘新年会の宴会利用件数も減少している。	
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・来客数が減少している。また、年末年始の帰省切符の売上が、例年より悪くなっている。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・これまでで最高の割引キャンペーンを実施しているにもかかわらず、新規契約数は例年の12月期に比べて伸びていない。	
通信会社(開発担当)	それ以外	・年度計画は順調に進んでいる。	
通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・例年より問い合わせ件数が減っている。そのため、注文数や売上も減少している。	
テーマパーク (総務担当)	単価の動き	・入場者数は増加しているが、園内消費の単価が伸びていない。	
ゴルフ場(経営者)	来客数の動き	・昨年の12月は大雪で、来場者数は大幅に減少したが、今年は例年並みの来場者数を確保している。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・暖冬に恵まれ、昨年よりは順調に推移している。レストランでのクリスマス等の食事会も予定どおりで、売上は確保できている。	
美容室(経営者)	競争相手の様子	・美容院の数は増える一方で、若い客層は新しい店に流れている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・12月中旬以降新規の来客はほとんどなく、既存客に働きかけているところである。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・時期的に来客数は増えているが、客単価が低く、販売量も減少している。売上は伸びていない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・今月に入り個人客の消費が伸びておらず、特に量販店のお歳暮商品の売上が低迷している。ただし、法人関係の手土産商品は、昨年より多少増加している。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・クリスマスギフトやお歳暮の売上は堅調であるが、例年見られた「ついで購入」があまりなく、売上はあまり伸びていない。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物商品の動きが弱い。お歳暮の動きも軟調である。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・食料品などの売行きは堅調であるが、時計や宝飾など高額品の売行きが、目立って落ち込んでいる。
	百貨店(外商担当)	販売量の動き	・おせち料理の販売量は増加しているが、お歳暮商品や冬物衣料の売行きが悪く、引き続き売上は伸び悩んでいる。高額商品の売上も減少している。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・暖冬の影響もありすべての商品が安く、その割にあまり売れない状況が続いている。
	スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・近くに大型ディスカウントストアが出店し、周辺のスーパーも安売りで対抗しているため、客単価は低下している。客はチラシを見て少しでも安い店を選んでおり、限られた地域で客を奪い合いしている。
	コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・弁当や飲料など、販売比率の高い主力商品の前年割れが著しい。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・暖冬の影響で、販売動向は悪くなっている。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・暖冬の影響で、売上は減少している。最近新装オープンする店が増えているが、来客数が大幅増加する例は少なく、客の動きは非常に悪い。

		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今年冬のボーナス需要を感じる事がなく、11~12月の新車販売は予想を下回る結果となった。自動車業界全体では、主力車種の新型発売効果もあり前年割れはなかったが、非常に厳しい市場環境である。
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・売行きがそれほど悪くなっているわけではないが、世間的に少し不安感が出ている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量は明らかに減少しており、前年以上の落ち込みになっている。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・秋口以来、軽自動車以外の動きが悪く、販売量は減少している。
		その他専門店 [貴金属](店長)	お客様の様子	・買い控えが目立ち、来客数、客単価とも悪化しており、前年割れが続いている。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・忘年会等の予約は堅調であるが、平日のディナー客が減少している。個人客の減少が大きい。
		一般レストラン (経営者)	単価の動き	・一人当たりの客単価は、30%ほど低下している。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・1~3月の予約状況は、前年同期比80%前後と、弱くなっている。
		旅行代理店(経営者)	競争相手の様子	・ホームページで個人予約できるなどIT化の影響や、航空業界の東京集中により航空座席の確保が難しくなっている影響、また収益率の低下もあり、薄利多売の傾向が一層強くなっている。
		テーマパーク (職員)	お客様の様子	・入場者数が減少しており、売店の売上も減少している。
		パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪くなっている。
		理美容室(経営者)	来客数の動き	・新年を迎える時期でも、特殊技術を利用したりパーマをかけた客は少ない。
		理容室(経営者)	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。
		住宅販売会社 (企画担当)	販売量の動き	・この2、3か月は、契約件数がやや減少している。
	悪くなっている	-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている	窯業・土石製品 製造業(経営者)	それ以外	・窯業原料を扱う本業の業績は、中国市場開拓の効果により3か月前と比較して大幅な増収増益となり、好調に推移している。
	やや良くなっている	一般機械器具製 造業(経理担当)	受注量や販売量 の動き	・建設用機器装置を増産している。社内要員の確保が困難になることが想定され、加工関連の設備投資を実施している。
		電気機械器具製 造業(企画担当)	受注量や販売量 の動き	・伸びが顕著というほどではないが、輸出も含めて自社の受注、売上は堅調に推移している。
		輸送用機械器具 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量 の動き	・完成車メーカーからの受注数は非常に増加しており、1月分の発注内示も強気の数値が出ている。12月のボーナスは、かなりの増額支給となっている。
		輸送用機械器具 製造業(統括)	受注量や販売量 の動き	・主力取引先からの受注量が少しずつ増加してきている。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・小口雑貨の輸送物量は、今夏以降前年をやや上回る状況で推移している。背景に、消費動向がわずかながら好転していることがある。
	変わらない	金融業(企画担当)	取引先の様子	・中間決算の内容は、業種を問わずおおむね良くなっている。特にコスト削減効果が大きい。
		窯業・土石製品 製造業(社員)	競争相手の様子	・売上は回復傾向にあるが、原材料の価格上昇は相変わらずで、利益は圧迫されている。ただし、その影響で廃業した同業者があり、その分の新規受注が増えていることが救いである。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・原材料価格が高止まっている。亜鉛、ステンレス鋼の価格は、今後更に上昇する。販売価格安も相変わらずである。
		建設業(経営者)	取引先の様子	・原材料費が高騰しており、賃金を増やせない。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・年末商戦の物流量は、昨年と比較して増加傾向にある。ただし、燃料費や人件費などの高騰分の運賃単価への転嫁が進まないため、収益面での影響はない。

	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・例年ならば年末に向けて荷物量が増えるが、今年はあまり伸びがなく、横ばいである。	
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・トン当たりの運賃単価は、下げ止まってきている。荷物量は変わらないため、現状維持である。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の投資意欲に特に変化は見られない。売上は変化していないが、利益は減少傾向にある。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・継続広告の実績が落ち込んでいる一方で、新規企画等が少し増加しているため、全体的には変わらない。	
	公認会計士	取引先の様子	・製造業は、生産ラインの稼働を調整している状況にある。売上は、この数か月間横ばいの企業が多い。	
	その他非製造業 〔ソフト開発〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の設備投資は、一部を除いてやや抑制傾向にある。	
やや悪くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引量が減少しており、鉄鋼メーカーによる一方的な値上げも続いているため、仕事量が少ない中で価格競争に巻き込まれている。	
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・原材料費が異常なほど高騰しており、営業活動にも安心して取り組めない。仕入価格の予測が付かないため、取引先との価格折衝が十分にできない。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・例年年末は短期の派遣注文が増えるが、今年はその傾向が一段と顕著であり、派遣注文は前年比で大幅に増えている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・サービス業や小売業から営業職、販売職の求人依頼が増加しており、メーカー、商社からの依頼と共に、要望に応じきれない状態が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・正規社員の求人が、若干増加傾向にある。これまで派遣、請負求人頼っていた大手企業が、偽装請負問題等もあって、派遣や請負社員を正社員に転用する動きがある。
変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・企業からの技術者ニーズは相変わらずおう盛であるが、以前ほどの人手不足ではない。技術者は経験等が重視されるため、一定レベル以上の即戦力のみが採用される状況になっている。	
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人は相変わらず多いものの、求職者が少ない。また、就業条件が高いため、マッチングに至らない例も多い。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣の注文は相変わらず多いが、正社員採用の人材紹介の受注が減ってきている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パート、アルバイト関係の広告出稿が、一年半ぶりに前年比増となっている。求人出稿が悪い中で、やや明るい兆しである。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告の動きに変化はなく、好調を継続している。特に静岡県西部の輸出関連製造業では、慢性的な人手不足が続いている。	
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・窓口での求職者数は減少しているが、季節的要因である。求人数の動きも落ち着いており、大きな変化は無い。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業からの求人は、13か月連続の前年比増となっている。ただし増加率は小さく、横ばいに近い。現在は人員整理の発生も少なく、落ち着いた状況にある。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は、輸送用機器製造の大手企業から大量の求人申込があるなど、6か月連続で前年を上回っている。	
	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・有効求人倍率が高いが、新規求人の動向に多少陰りがみられる。また、依然として派遣、請負の求人が多く、常用雇用求人の割合は少ない。	
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は相変わらず多い。	
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は相変わらず高水準にあるが、大きな変化は無い。	
やや悪くなっている				

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---